

第 37 回高知県がん対策推進協議会 議事概要

1. 日時 令和 5 年 3 月 27 日（月） 19 : 00 ~ 20 : 50
2. 場所 県庁 第二応接室
3. 出席 委員 19 名中、17 名が出席（代理出席 1 名含む）
4. 議事
 - （1）第 3 期 高知県がん対策推進計画の進捗状況について
 - 1）県の取組状況報告
 - 2）各委員からの取組状況報告
 - （2）高知県がん診療連携推進病院の指定について
 - （3）ピアサポーター養成への協力依頼について
 - （4）令和 5 年度患者満足度調査項目について（確認）
 - （5）令和 5 年度医療機関がん診療体制調査項目について（確認）
 - （6）国第 4 期がん対策推進基本計画（案）概要について

議事について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）
議事については、すべて了承された。

※意見交換概要

（1）第 3 期 高知県がん対策推進計画の進捗状況について

1）県の取組状況報告

がん患者の自宅看取率について、圏域ごとの数値が出せないかとの意見があった。
⇒人口動態調査による自宅死亡（がん以外の疾病含む）は別添のとおり。

2）各委員からの取組状況報告

意見交換等 特になし

（2）高知県がん診療連携推進病院の指定について

指定要件のうち未充足となっている薬物療法・放射線治療のべ患者数、がん患者の診療実績について、高知県の人口が減少している中で今後増加させるのは難しいのではないかと、全国一律の拠点病院の基準に合わせると本県では推進病院（拠点病院に準じる病院）に当たる医療機関はなくなってしまうため、推進病院として数値を上げる努力はしていただき、何とか改善できるようにするのが良いのではないかと意見があった。

また、神経ブロックの実施体制等の公表について、高知大学や医療センターと連携しているということをホームページに明記し、実際に症例があれば連携できると良いとの意見があった。

（3）ピアサポーター養成への協力依頼について

委員からは、取組は良いことだが候補者の選定が相当難しそうだと、との意見があった。

また、養成人数の見込みと心のケアとの違い及び活動内容について質問があり、事務局から、候補者の方を見つけていくのは難しい課題であるが、対象者がいれば数名からでも始めて徐々に増やしていきたい、ピアサポーターは心のケアといった専門的な相談支援ではなく、自らのがん体験を語り、情報の共有を行う役割である、がん患者であるため、体調や私生活に配慮しながら活動内容は相談していきたい、との回答があった。

さらに、当事者及びピアサポーターの双方に配慮しながら、がん患者はがん診療連携拠点病院等が必ず関与して連携しながら取組を進めると良い、高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会の意見も取り入れてもらうと良いとの意見があった。

(4) 令和5年度患者満足度調査項目について（確認）

意見交換等 特になし

(5) 令和5年度医療機関がん診療体制調査項目について（確認）

委員から、設問項目の誤字について意見があり、事務局から修正するとの回答があった。

(6) 国第4期がん対策推進基本計画（案）概要について

意見交換等 特になし

(以上)